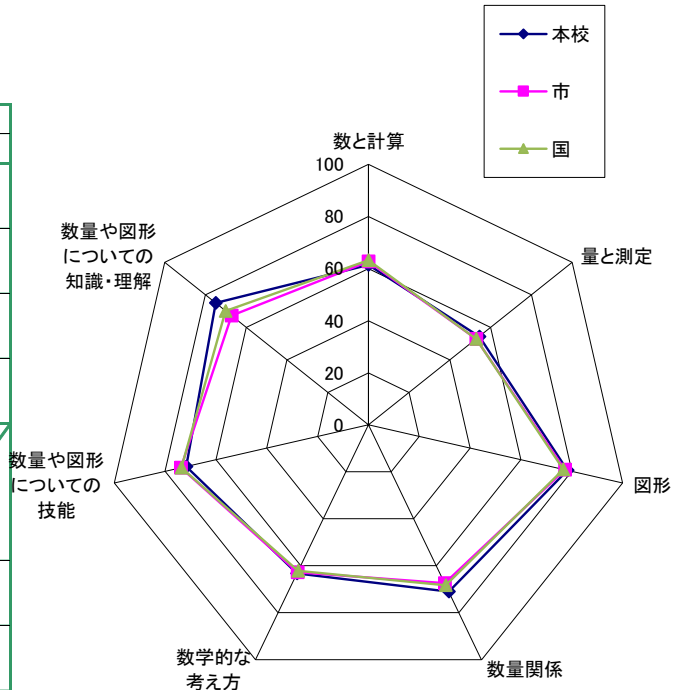


宇都宮市立瑞穂野北小学校第6学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

○【算数】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	数と計算	61.4	62.7	63.2
	量と測定	54.4	52.9	52.9
	図形	78.3	77.3	76.7
	数量関係	71.0	67.4	68.3
観点	算数への関心・意欲・態度			
	数学的な考え方	63.3	62.7	62.2
	数量や図形についての技能	71.7	73.8	73.6
	数量や図形についての知識・理解	75.0	67.2	70.1



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<p>平均正答率は、全国平均をやや下回っている。</p> <p>●「何倍か」を求める計算, 「+」と「×」の混じった計算をする問題の正答率が低い。</p> <p>●わり算の計算のきまりは理解しているが、正確に計算することに課題が見られる。</p> <p>●問題文の中から目的に合わせて必要な情報を抜き出して式にすることに課題が見られる。</p>	<p>・朝の学習や家庭学習の時間を使い、基本的な計算を反復練習して、技能の習熟を図る。</p> <p>・計算の技能を高めるだけでなく、問題の場面を正しく把握したり、意味を考えながら立式できるようにするために、必要な情報だけを使いながら簡単な図などに表す活動を取り入れる。</p>
量と測定	<p>平均正答率は、全国平均を上回っている。</p> <p>○図形の面積を求める式を見て、どのように考えて立てられた式かを説明する問題の正答率が高い。</p> <p>●二つのグラフから、資料の特徴や傾向を関連付けて読み取ることはできているが、どうしてそうなのか、理由を言葉や式で分かりやすく表現することに課題が見られる。</p>	<p>・授業の中で、自分の考えを算数の用語を使って、記述したり発言したりする活動を多く取り入れていく。</p>
図形	<p>平均正答率は、全国平均をやや上回っている。</p> <p>○図形の性質や構成要素に着目して観察し、頭の中で図形を動かしたり回転させたりする問題の正答率が高い。</p>	<p>・作業的・体験的な活動を通して理解できるようにするとともに、図形の念頭操作にも慣れるように、映像なども効果的に活用する。</p>

数量関係	平均正答率は、全国平均を上回っている。 ○グラフから特徴や傾向を読み取る問題の正答率が高い。	・統計的な処理の目的やよさについて実感させながら、資料の収集・分類・整理ができるようにし、様々なグラフから情報を読み取る経験を積ませる。
------	---	--